職場体験を終えて
市山　春加さん
（１年）

初めてで、ずっと楽しみにしていた職場体験。どんなことをするのだろう、うまくできるかな、小さな不安がありました。実際にやっていくうちに、不安な気持ちは消え、だんだん楽しくなっていきました。しかし、私は大変疲れました。職場の方たちは毎日この仕事をしているんだと思うと、「すごい」と思いました。私も将来、自分の仕事を楽しみながらできたらいいなぁと思います。

初めての職場体験
國田　健一さん
（１年）

僕は、今年初めて職場体験学習に参加しました。僕がお世話になったのは、「鬼北町教育委員会」でした。そこで、「遺跡発掘調査」をお手伝いしました。発掘調査は町内のいろいろなところで行われていました。僕は、「等妙寺旧境内」の発掘調査でした。暑い中での発掘はとても大変でしたが、教育委員会の方たちと楽しく取り組むことができました。今年一番の忘れられない思い出です。

介護士への夢
谷口　茉佑さん
（２年）

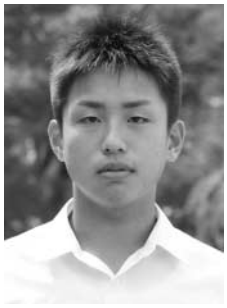
私は、介護士になりたいと思っています。そのため、勝山荘で介護実習の体験をさせていただきました。車椅子や特別入浴、搬送車の説明を受けたとき、いろいろな介護を必要とする方がおられることに驚きました。この仕事は、私が思っていた以上に大変な仕事でした。しかし、介護士の皆さんの一生懸命な姿に接し、私の思いはより深いものとなりました。ありがとうございました。

東洋軒での５日間
馬木　　葵さん
（２年）

「東洋軒きほく庵。」私は、ここで御世話になりました。接客を中心に体験させていただきました。最初は不安ばかりでしたが、社員の方が一つ一つ優しく教えてくださり、５日間を無事終了することができました。この体験を通して、私は、お客様に対する姿勢、的確な仕事と接客の両立の難しさ、そして仕事の楽しさなど、実にたくさんのことを学ぶことができました。

母への思い
長田　　梓さん
（３年）

私は、今回みどり保育所へ行き、一歳から三歳児の「桃組」を担当しました。子どもたちは、少し目を離すと姿を見失ったり、危険なことをしたりしました。私は、きっと私の母も同じ思いをしていたんだなと実感しました。この５日間を通して、私は、「母の思い」を少しだけ知ることができました。そして、働くことの大変さ、育児の大変さなど、多くのことを学びました。



鬼北消防署で学んだこと
葛本　一利さん
（３年）

僕は、鬼北消防署で職場体験をさせていただきました。消防署での５日間は、とても大変でした。将来自分が働くことを考えると、少し心配になりました。僕が、この５日間で体験したことは、働くということの大変さ、あいさつの大切さ、そして最後に、今、僕たちのために働いてくれている両親への感謝の気持ちでした。今まで考えなかったことを、たくさん学べて本当によかったです。

＊キャリア教育実践プロジェクトとは

明確な目的意識を持って日々の学業生活に取組み、児童生徒が「生きる力」を身に付けることで、激しい社会の変化に対応し、主体的に自己の進路を選択・決定できるなど、社会人・職業人として自立していくことができるようにするキャリア教育の推進が強く求められています。このため、地域の教育力を最大限に活用し、中学校を中心とした職場体験等の５日以上の実施など、キャリア教育の一層の推進を図ることを目的としています。

〇職場体験学習にご協力いただいた事業所の皆さんありがとうございました。